

第 65 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）のご案内

第 65 回日本臨床細胞学会総会春期大会の会長を拝命している森井英一です。

期日は 2024 年 6 月 7 日（金）から 9 日（日）で、大阪国際会議場（大阪府）において、「多様性が育む細胞診の未来」をテーマとして開催いたします。

下記の HP もご覧ください。

第 65 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）ホームページ URL：<http://jscc65.umin.jp>

開催形式としてはオンサイトですが、学会の参加形式の多様化を鑑みオンデマンド併用で後日視聴できるようにいたします。特別講演は新進気鋭のゲノム細胞診研究者である MD アンダーソン癌研究センターの Chowdhuri 先生に Advances in Molecular Cytopathology というテーマでお願いしました。また会長特別企画としてこれからの我が国におけるゲノム医療の体制について北海道大学の畑中豊先生に語っていただきます。臨床細胞学会における臨床研究として行われてきた「一般住民を対象とした子宮頸がん検診における液状化検体細胞診と HPV DNA 検査との併用法の有用性を評価する前向き無作為比較研究」の研究発表も研究代表を務められた青木大輔先生を中心に行われます。また、人工知能をデジタルサイロロジーに応用しようというデジタルサイロロジー・AI 検討ワーキンググループからの活動報告や、検診の精度を管理できる人材を育成する目的で開催される精度管理アドバイザー講習会も盛り込まれています。2017 年、植田政嗣先生が大阪で開催された臨床細胞学会総会で大好評だった、明日からの診断に役立つスキルアップ講座も復活させます。1 会場を使い、朝から夕方まで 30 分刻みで診断のコツをエキスパートにどんどん解説していただく企画です。ここでは書ききれない多くの先生方の要望講演や教育講演、さらに診断の根幹から最先端までを討議するシンポジウムやワークショップもあります。スライドカンファレンスでは whole slide imaging を導入する新たな試みを行います。会場は大阪の中之島で、近隣に美術館などもある文化芸術の中心的地域です。多数の会員の皆様のご参集をお願い申し上げます。

第 65 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）会長

森井英一